

2016年6月23日

**AGC 旭硝子、東急電鉄、日本信号、三菱電機と
デジタルサイネージ一体型のマルチメディアホームドアを共同開発
—6月27日（月）から東横線武蔵小杉駅で、7月以降大井町線溝の口駅で
鉄道情報配信の実証実験を開始—**

AGC旭硝子（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）は、東京急行電鉄株式会社（以下、東急電鉄）日本信号株式会社（以下、日本信号）、三菱電機株式会社（以下、三菱電機）と共同でデジタルサイネージ一体型のマルチメディアホームドア（以下、本ホームドア）を開発し、本年6月27日（月）より、東横線武蔵小杉駅で、7月以降大井町線溝の口駅で実証実験を開始します。

本ホームドアは、AGC旭硝子が開発したガラス一体型デジタルサイネージ「inforverre[®]（インフォバー）」を、三菱電機および日本信号が制作するホームドアの戸袋部分に設置し、東急電鉄がコンテンツ配信の仕組みと運用モデルを構築します。今回の実証実験では、鉄道業界では最大となる55インチサイズのデジタルサイネージを組み込んだ本ホームドアを東横線武蔵小杉駅、大井町線溝の口駅の一部に設置し、屋外環境での技術的課題を検証すると共に、デジタルデバイスを組み合わせたホーム上での新たな情報発信に積極的に取り組んでいきます。



マルチメディアホームドアイメージ



設置イメージ

AGCグループは、経営方針 *AGC plus* の下、世の中に「安心・安全・快適」を、お客様に「新たな価値・機能」を、プラスする製品づくりに取り組んでいます。今後もデジタルサイネージソリューションのパイオニアとして、お客様に満足頂ける、新たな価値をプラスした製品をご提供できるよう技術革新を進めてまいります。

以上

※「inforverre[®]（インフォバー）」はAGC旭硝子の登録商標です。

※マルチメディアホームドアに関するお問い合わせ先

東京急行電鉄株式会社 社長室 広報部 広報課 報道担当 電話：03-3477-6086

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC旭硝子 経営企画部 広報・IR室長 小林 純一

（担当：烏山 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com）

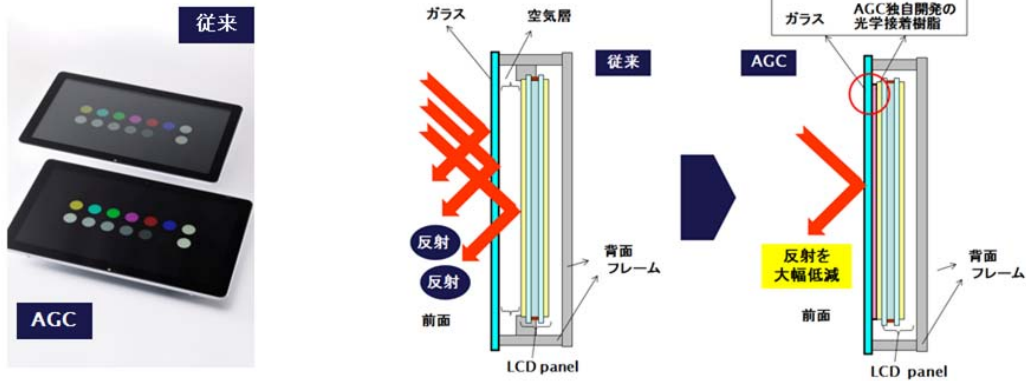
<ご参考>

■ infoverre®（インフォバー）シリーズとは？

（製品サイト：http://www.agc.com/products/summary/1193732_832.html）

ガラスを情報発信の媒体とする「ガラスサイネージ」のひとつとして開発された infoverre®。当社の化学品事業で培った光学接合技術により、ガラスに大型ディスプレイモニターを直接貼り付けた製品です。空気層を省くことで視認性を高め、浮かび上がるようなクリアな映像を表示します。また、ディスプレイをガラス接着面で支えているため省スペースが可能に、そして放熱ファンが不要のため低消費電力も実現します。

AGC 独自の液晶直接貼合技術



■ infoverre®（インフォバー）シリーズの使用例

「infoverre® WINDOW」



「infoverre® TABLETOP」



「infoverre® MIRROR」



◎ 本件に関するお問い合わせ先：

AGC 旭硝子 経営企画部 広報・IR 室長 小林 純一

（担当：鳥山 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com）